

(まとめ) 行財政改革の実行による収支改善効果の見通し

行財政集中改革プラン、緊急改革プランに基づき行財政改革を実行した場合の、普通会計における平成22年度までの収支改善効果の見通しをお知らせします。

※この試算は、ある一定条件の仮定のもとに長期的な財政収支の試算を行ったものです。地方財政は国の政策に大きく左右されるので、今後の政府の方針や制度改革等により、数値は変動します。

◆行財政改革前の財政収支の試算表

(単位：千円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	(決算額)	(決算見込額)	(見込額)	(見込額)	(見込額)	(見込額)
歳入合計(A)	23,651,197	19,517,584	20,413,248	18,463,522	17,188,331	17,303,967
歳出合計(B)	22,918,092	19,312,380	21,346,357	19,279,005	18,245,903	18,616,671
歳入歳出差引(A-B)	733,105	205,204	▲933,109	▲815,483	▲1,057,572	▲1,312,704

毎年の赤字分を基金(積立金)で穴埋めします

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
年度末実質基金残高	3,709,796	3,491,091	2,557,982	1,742,499	684,927	▲627,777

基金(積立金)を使い果たしても
約6億2,700万円の財源不足

行財政改革の実行

行革効果
約32億円

◆行財政改革後の財政収支の試算表

(単位：千円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
行革効果額		252,377	585,925	670,108	839,342	886,943
	(決算額)	(決算見込額)	(見込額)	(見込額)	(見込額)	(見込額)
歳入合計(A)	23,651,197	19,563,581	20,431,571	18,486,321	17,217,684	17,336,608
歳出合計(B)	22,918,092	19,106,000	20,778,755	18,631,696	17,435,914	17,762,369
歳入歳出差引(A-B)	733,105	457,581	▲347,184	▲145,375	▲218,230	▲425,761

毎年の赤字分を基金(積立金)で穴埋めします

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
年度末実質基金残高	3,709,796	3,491,091	3,143,907	2,998,532	2,780,302	2,354,541

行財政改革により約23億5千万円の基金(積立金)が残ります。
しかし、単年度収支は赤字のままで、平成18年度から22年度の間約11億3千万円の基金を取り崩しており、厳しい財政状況に変わりはありません。

したがって将来の健全な財政運営を確保するためには、行革プランを達成することはもちろんのこと、年度ごとに計画の見直しをかけ、さらなる行財政改革に取り組むことが必要です。